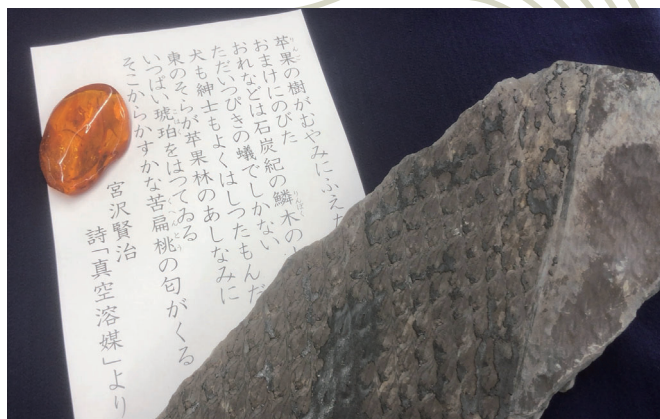


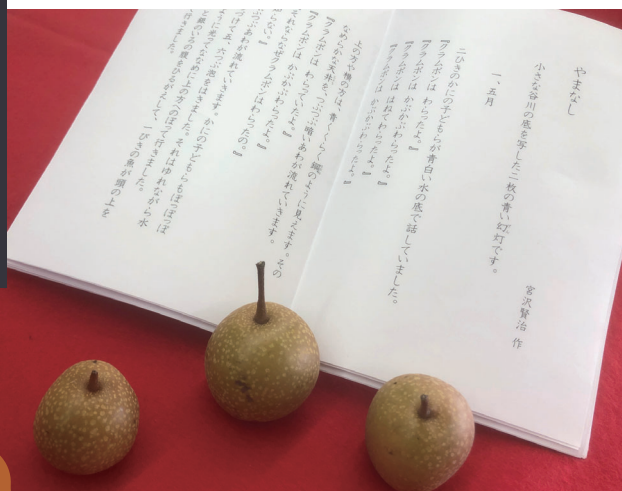
出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」宮沢賢治
(<https://www.ndl.go.jp/portrait/datas/4318>)



文教大学特別企画展示 五感で楽しむ宮沢賢治



詩「真空溶媒」に描かれた
鳞木と琥珀



教科書でお馴染み やまなし

2023
11/24 (金)
▼
12/7 (木)

展示場所

越谷図書館 1階 プレゼンテーションルーム

文学部 日本語日本文学科 教授
教育学部 学校教育課程 教授
監修：鈴木健司・大島丈志

主催：文教大学越谷図書館
後援：文教大学国文学会

館長挨拶

このたび、文教大学越谷図書館では、「五感で楽しむ宮沢賢治」の特別展示を開催する運びとなりました。根強い人気を誇る宮沢賢治をテーマに、さまざまな角度から賢治の作品や「思い」を体感していただくことを目指し、「ふつう」とはちょっと違った展示になっています。賢治の地質学・鉱物に対する関心と該博な知識、音楽への傾倒、そして最後まで取り組んだ農業…、これらを直感的に理解していただけるよう、文教が誇るお二人の賢治研究者、鈴木健司先生・大島丈志先生監修のもとに、五感に訴える展示物を用意しました。どうぞごゆっくり、見て、聴いて、触って、賢治の世界を味わって下さい。鑑賞後には、あなたの新たな賢治像が浮かび上がっているはずです。

(文教大学附属図書館館長 宮武利江)



各社から出版された賢治全集



賢治が繰り返し読んだ
国柱会・田中智学の『本化妙宗式目講義録』

監修者紹介

文教大学 文学部 日本語日本文学科 教授

鈴木健司

プロフィール



1953年、埼玉県に生まれる。早稲田大学教育学研究科修士課程修了。博士(学術)。現在、文教大学文学部教授。専攻、日本近代文学。著書に『宮沢賢治 幻想空間の構造』(蒼丘書林、1994年11月、宮沢賢治賞奨励賞受賞)、『宮沢賢治という現象—読みと受容への試論—』(蒼丘書林、2002年5月、高知県出版文化賞受賞)、『宮沢賢治文学における地学的想像力—〈心象〉と〈現実〉の谷をわたる—』(蒼丘書林、2011年05月)、『宮沢賢治文学における地学的想像力Ⅱ—〈岩頸〉表象の検証と精神医学的接近—』(蒼丘書林、2022年8月)など。

コメント

宮沢賢治は職業作家ではありません。逆説的な言い方になりますが、職業作家でないことにより、結果として宮沢賢治の文学は多様性を帯びることになりました。私は「仏教」と「岩石・鉱物」を担当しています。他にも、「宮沢賢治の音楽」「宮沢賢治の原稿」などいろいろ企画しています。

文教大学 教育学部 学校教育課程 教授

大島丈志

プロフィール



1973年、東京都に生まれる。千葉大学大学院社会文化科学研究科博士課程修了。博士(文学)。現在、文教大学教育学部教授。専攻、日本近代文学。著書に『宮沢賢治の農業と文学』(蒼丘書林、2013年7月、宮沢賢治賞奨励賞受賞)、共著に『絵本で読みとく宮沢賢治』(水声社、2013年10月)、『絵本ものがたり FIND 見つける つむぐ 変化させる』(朝倉書店、2016年5月)、『「時」から読み解く世界児童文学事典』(原書房、2017年10月)『小説の生存戦略』(青弓社、2020年4月)、『日本近代知識人が見た北京』(三恵社、2022年7月)、『現代文化のなかの〈宮沢賢治〉』(新典社、2023年9月)など。

コメント

宮沢賢治とその作品に様々な角度から迫ります。私は「農業」と「現代における受容」を担当しました。五感で体験できる展示を意識しましたので、ぜひ宮沢賢治の世界に触れ、体験してみてください。その先に、深い研究の世界が開けてくるはずですよ。楽しんでください。

トークイベント開催決定!

登壇：鈴木健司 教授
大島丈志 教授

日時：12月9日(土) 13:30-14:30

会場：紀伊国屋書店新宿本店3階
アカデミック・ラウンジ

開館予定はQRコードよりご確認ください



文教大学越谷図書館
〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337



アクセス：北越谷駅 西口下車 徒歩10分